

Multicultural Symbiotic Societies

～ここから始める多文化共生～

学校所在府県：滋賀県

学校名：愛荘町立愛知川小学校

名前：山根 孝仁

実践教科：総合的な学習の時間

指導時数：6 時間

対象学年：小学 5 年生（3 クラス）

対象人数：96 人

1. 教師海外研修を通して感じたこと

「あまりにも濃く、充実した 12 日間だった。」昨年度の研修報告書を読み、この感想が書かれていたことから、一体どのような研修になるのか、ドキドキとワクワクでいっぱいになりながら迎えた教師海外研修であった。

そして今、研修を終えて思うことは、人生でこれ以上の夏はない！という充実した気持ちである。怒涛のような 12 日間であった。ブラジルという地理的に日本の正反対にある国に行くこともなかなかできない体験であり、見るものすべてに感動し続けた研修となった。

その中で、特筆して印象に残っていることは、現地でがんばっている日本人の姿であった。この研修に参加する前まで、私は日本の移民政策についてほとんど知らなかった。1900 年代前半の移民政策でたくさんの日本人がブラジルにやってきて、過酷な労働や病気を乗り越えながら生活してきた日本人の姿を知り、感銘を受けた。0 から 1 をつくりだすことの大変さや挫折にも挫けない不屈の精神力を学び、日本人の武士道精神やサムライ魂を感じることができた。このような姿から、私自身も日本に帰ってから一生懸命がんばろうという力をもらった。

また、自分の足でブラジルを学ぶことができたことも大きな収穫である。人に聞いたり教えてもらったりすることも大切なことであるが、「百聞は一見に如かず」、自分の体験から語る言葉には重み加わっている。たった 12 日間の出来事であったが、私にとってはかけがえのない、貴重な経験をさせていただいた教師海外研修であった。

2. カリキュラム

(1) 実践の目的・背景

滋賀県は南米出身者集住地区であり、私が現在勤務する学校にも外国籍児童、特にブラジル国籍の児童が多数在籍している。その中の数人を担任する中で言語の壁に直面する児童の姿を何度も見てきた。その子どもたちを担任する立場として、自分に何かできることがあるのではないかと考えたことが今回の研修に参加したいと考えたきっかけであった。

5 年生になるまで子どもたちは様々な学習を進めているが、これまでの学習でブラジルや地域に住む外国の人について学ぶ機会はほとんどなかった。外国籍児童についても 1 年生からともに生活していることから彼らのルーツもよく知らないまま学校生活を送っていた。日本語が分からず学習につまづいている外国籍の児童に暴言を吐いたり、差別的な目を向けていたりする場面を見かけることもあった。だからこそ、今回の学習を通して子どもたちに、違いがあって当たり前、違いがあるからおもしろいこと、認め合うことの大切さを伝えたいと考えた。

また、今回のブラジルの学習を通して、地域に住む南米出身の方やこれからますます日本に増えていく外国の方に対して、子どもたちが自分から話しかけたり助け合ったりする行動が増えればと考えている。外国に対して自分の当たり前が、他の人の、あるいは世界の当たり前ではないことに気づき、心の世界を広げてほしいと考えている。

(2) 授業の構成

| 時限・テーマ・ねらい | 方法・内容 | 使用教材 |
|--|--|---|
| 1 時限目 ブラジル イントロダクション ～フォトランゲージ～ * ブラジルに関する基礎知識を学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ●なぜブラジルについて学ぶのかを知る。 ●絵本を読む。 ●ブラジルのイメージについて話し合う。 ●ブラジルの地理的概要をつかむ。 ●ブラジルクイズを通してブラジルという国の概要をつかむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●滋賀県国際協会ブラジルボックス ●絵本 「ええぞカルロス」 ●ワークシート |
| 2 時限目 ブラジル イントロダクション ～モノランゲージ～ * ブラジルの人々のくらしの様子を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ブラジルならではのモノを見たり触ったりしながら生活の様子について知る。 ●これって日本？ブラジル？の活動を通してなぜ日本のものがブラジルにたくさんあるのかについて疑問をもち、次時の日系移民の学習につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●ブラジルボックス ●これって日本？ブラジル？の教材 ●ワークシート |
| 3 時限目 ブラジルと日本の つながり ～日系移民を通して～ * 日系移民の歴史や苦勞、努力について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ●歴史的な背景から自分だったらブラジルに行くか行かないかを考える。 ●日本人がブラジルに移民をする歴史について学ぶ。 ●苦境にも負けずに立ち上がってきた日本人の姿を知る。 ●ジャポネスガランチードという言葉を通して、日本人が信頼されていることを知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●TV ビデオ ●ワークシート |
| 4 時限目 ブラジルと日本の つながり ～愛荘町に暮らす南米出身者について考える～ * 地域で暮らす南米の方について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ●日本や滋賀県、愛荘町に住む外国人の人口変化を知り、多くの外国人が住んでいることを知る。 ●初めて日本に来たときに困ったことや驚いたことについて考えたことを発表する。 ●日系移民と同じように生活に慣れるまでたくさんの苦勞があったことを知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●日本に住む外国人に関するデータ ●地域で暮らす方の動画 ●ワークシート |
| 5 時限目 ここから始める 多文化共生 * 体験を通して、外国人の気持ちを感じとり、コミュニケーションをとる手段について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ●字が読めないことを体験する。 ●言葉が伝わらない人とコミュニケーションをとる手段について考える。 ●仲間分けゲームを通して、一人になった子の気持ちについて考える。 ●行動することの難しさについて考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ●開発教育教材 「シミュレーション」 ●仲間分け用のシート ●ワークシート |
| 6 時限目 ここから始める 多文化共生 ～自分・自分たちにできることを考える～ * ともに生活する市民として、自分や自分たちにできることを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自分・自分たちにできることを考える。 ●自分・自分たちにできることをダイヤモンドランキング形式にして発表し合う。 ●学習のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●自分・自分たちにできることダイヤモンドランキング ●ワークシート |

3. 授業の詳細

1 時限目：ブラジルイントロダクション～フォトランゲージ～

ねらい…ブラジルに関する基礎知識を学ぶ。

◆内容◆

- ① なぜブラジルについて学ぶのかを確認する。
 1. ますます増える外国人の方と協力したり助け合ったりするため
 2. 日本のことをもっとよく知るため
 3. 愛荘町には南米の方が多く住んでいるため。
- ② パワーポイントで絵本「ええぞカルロス」を読む。
- ③ ブラジルのイメージについて話し合う。
- ④ ブラジルの地理的概要を説明する。
- ⑤ ブラジルクイズを通してブラジルに関する基礎知識を学ぶ。



▲ブラジルってどんな国？

！ココがポイント

なぜブラジルについて学習するのかについて確認することで、子どもたちが学ぶ意義を考えながら授業に参加できるようにする。また、はじめに児童のブラジルに対するイメージを交流させることで、実際の写真を見たときの印象が変わるように工夫した。



▲絵本「ええぞカルロス」

児童の感想

- ▶ ブラジルがどんな国なのかわかりました。
- ▶ リオのカーニバルがとても有名なので、ブラジルに行って、実際に見てみたいです。
- ▶ またブラジルの授業を楽しみに待っています。

◆所感◆

はじめの導入を大切にできたため、劇形式でなぜブラジルについて学ぶのかを確認した。絵本やクイズ等、実際にモノを用意して視覚的にも楽しい授業を心がけた。子どもたちは新しく学ぶことや日本との違いに驚き、興味関心の高まりを感じた。次時へつながるいいスタートだったと思う。

2 時限目：ブラジルイントロダクション～モノランゲージ～

ねらい…ブラジルの人々のくらしの様子を知る。

◆内容◆

- ① ブラジルボックスの中身を教室に広げておき、ブラジルのモノに対する興味関心を高める
- ② クイズ「わたしは誰でしょう」でモノを通して、ブラジルに対する理解を深める。
- ③ クイズ「これって日本？ブラジル？」を通して日本のモノがたくさんブラジルにあることを理解する。
- ④ なぜ日本のモノがブラジルにあるのかについて考え、日系移民の存在を知る。



▲日本のマンガやけど？

児童の反応

- ▶ 初めて見るブラジルのモノに興味津々であった。特に日本のマンガや人形等、日本にあるものとの違いに驚いている様子であった。カカオの実の匂いには、全員が驚きを隠せなかった。



▲これ何だろう？

児童の感想

- ▶ カカオ豆がくさかった。
- ▶ 一番びっくりしたことは「交番」のことです。日本のまねをしていい町をつくろうとするブラジルの人がすごいと思いました。そんなことを聞いて、ブラジルと日本は仲が良いのかなと思いました。

◆所感◆

時間が限られている関係で、ブラジルのモノのすべてを説明することはできなかったが、実際に触れるモノがあることで子どもたちの興味はかなり高まった。中でも日本のモノがブラジルにあることには驚いていて、次時の日系移民の学習につながる時間となった。

3 時限目：ブラジルと日本のつながり～日系移民を通して～

ねらい…日系移民の歴史や苦労、努力について学ぶ。

◆内容◆

- ① 1908年にブラジル移民が始まった歴史的な背景をとらえるビデオを観る。
- ② 歴史を踏まえた上で、自分ならブラジルに行くか行かないかとその理由を考える。
- ③ 実際にブラジルに行って苦労や努力をされたビデオを観る。
- ④ ジャポネスガランチードという言葉から、日本人が困難に立ち向かい不屈の精神で壁を乗り越えていったことで、ブラジルから信頼されるようになったことを知る。

児童の反応

- ▶ アマゾンが緑の地獄と呼ばれていたことを知り、ブラジルに行きたいと言っていた児童も衝撃を受けていた。しかし、困難にも挫折しがんばってきたことから日本がブラジルから信頼されるようになったことを知り、自分のことのように誇らしげにしていたことが印象的であった。

児童の感想

- ▶ わたしは日本人にとっても感動しました。なぜかというと、こんなにがんばる国はないと思ったからです。ブラジルは日本を信頼してくれていることを知って、うれしく思いました。

◆所感◆

1時間で日系移民のことを取り扱ったことから、私の伝えたい日系移民の方の努力について子どもたちと考えることができたかと反省の残るところであった。しかし、授業後子どもたちの中から「昔の日本人の武士道精神ってすごかったんだね。それに比べると今の日本人は弱くなっている気がする。」という意見が出てきたことが驚きであった。子どもたちなりに考えながら、地球の反対側で頑張る日本人の姿を共有することができた授業となった。

4 時限目：ブラジルと日本のつながり～愛荘町で暮らす南米出身者について考える～

ねらい…地域で暮らす南米の方について学ぶ。

◆内容◆

- ① 日本、滋賀県、愛荘町に住む外国人の人口の変化を知り、日本にはたくさんの外国人の方が住んでいることを知る。
- ② 外国人が日本にきたときに困ったことや驚いたことについて予想する。
- ③ 外国人の方の苦労や努力、日本での生活について知る。

！ココがポイント

地域に多くの南米の方が住んでいる特性を生かして実際にインタビューに行った。日本で生活したときに困ったことや驚いたこと、うれしかったことを生の声として子どもたちに伝えたことがよかった。また、本校の外国籍児童支援の先生等、身近な人に参加していただき、自分が小学生の時の話をしていただいたことでより身近に感じられた様子が見られた。

児童の感想

- ▶ ブラジルの方は苦勞をされたのだなと思いました。でも、「日本の生活はとっても楽しい。」と言ってくれていたのでうれしかったです。
- ▶ ブラジルの方が日本語などをわかっていないときに、教えてあげたいです。

◆所感◆

実際に苦勞された話やうれしかった話を聞き、初めて知る事実などに驚く子どもたちの姿が見られた。日本語が読めない、話している言葉がわからなくて困ったという話を聞いて、授業後の感想に「助けてあげたい。」という優しい気持ちを多くの子どもたちがもってくれたことがよかった。

5 時限目：ここから始める多文化共生

ねらい…体験を通して、外国人の気持ちを感じ取り、コミュニケーションをとる手段について考える。

◆内容◆

- ① ワークショップ「シミュレーション」…字が読めないことの大変さ、そのための教育の大切さについて考える。
- ② 言葉がわからなくて困っている外国人に対してどのような支援ができるかを考える。
- ③ 仲間分けゲームを通して、一人になった子の気持ちについて考える。
- ④ 実際に行動することの難しさについて考える。

！ココがポイント

本授業では、仲間分けゲームで2つのグループとどちらのグループにも入れない1人の児童に分けた。児童の性格やクラスの状況を考慮して1人になる子を考えたが、当日仲間外れを体験して落ち込んでいる様子が見られた。事前にどのようなゲームなのかを説明したり、グループ分けを配慮したりすることの大切さを感じた。

児童の感想

- ▶ 自分がその立場になってみたらたぶんどうすればわからなくて、いやになると思います。
- ▶ 輪の中に入れられない人の気持ちは知っているつもりでいたけれど、本当のことになると行動できないかもしれないと思いました。
- ▶ 何もしてあげられなかったことがくやしかった。

◆所感◆

ワークショップ「コミュニケーション」の活動を通して、実際に文字が読めないことを体験し、外国人の苦勞を身近に感じている様子が見られた。仲間分けゲームでは、グループに入れない1人の子に対して声かけすることの難しさを体験させた。頭では困っている人を助けたい、守ってあげたいという気持ちがあっても、実際にその場面に出会ったときに行動できるかということについて考えさせたかったため、本授業を計画した。この経験を通して、子どもたちが行動することの難しさを体験するとともに、次こそは助けてあげたいと強い気持ちを抱く姿が見られたことがよかった。

6 時限目：ここから始める多文化共生～自分・自分たちにできることについて考える～

ねらい…ともに生活する市民として、自分や自分たちにできることを考える。

◆内容◆

- ① 自分・自分たちにできることを考える。
- ② 自分・自分たちにできることをダイヤモンドランキング形式にして発表し合う。
- ③ 多文化共生という言葉から、多くの文化が共に生きる社会づくりについて考える。

！ココがポイント

事前に自分や自分たちにできることについて考えて、回答数の多いものから9つの項目に分けておいた。自分たちで考えたものの中からランキング形式にしたことによって、児童にとっては自分に身近な問題として考えていくことができた。

児童の感想

- ▶ ブラジルのいろいろなことを学習することができてとっても楽しかったです。
- ▶ またブラジルに行ってみたいです。
- ▶ 他の国はどんなのかなと思ったので、他の国についても知りたいです。

◆所感◆

グループで話し合いながらダイヤモンドランキングを行ったことによって、自分の意見と友達の意見を比べながら考えていくことができた。こうして精選された意見は子どもたちの心の中に残ってくれたと思う。机の上での学習に終わらず、行動に移してくれることを願うばかりである。

4. 成果

全体を通して、子どもたちはブラジルの学習に興味関心をもって意欲的に活動し、日本との違いや初めて見るものに驚き、感動する姿が何度も見られた。この姿から、子どもたちにとって初めての外国の学習が「楽しい」と感じられるものとなったことが私にとってもうれしかった。違うことのおもしろさ、認め合うことの大切さを知って、子どもたちと感動を共有することができ、本授業を実践してよかったと感じている。この経験を通して、子どもたちが実際に地域に住む外国人の方と関わり、助け合いながら多文化共生社会づくりの実現に向けて行動してくれることを願っている。

また、クラスには南米の国籍の児童が在籍していたが、その児童にとってブラジルの学習をすることでさらに差別的な目線が向けられるのではないかとという怖さがあった。しかし、在籍している児童は生まれてからずっと日本で生活してきたため、自分の地域やルーツについて考える機会はなかったようである。本学習を通して、初めは恥ずかしそうにしている姿が見られたが、授業の最後には大変意欲的になり、クラスの前でスペイン語を披露する場面も見られた。外国籍児童にとっても南米のことについて学ぶ授業は、南米出身者の多い滋賀県にとって必要なものであることを改めて感じた。

5. 課題

充実した夏の教師海外研修を終えてすぐに2学期が始まり、バタバタと忙しく過ごす中で十分な準備ができないまま授業実践に入ってしまったことが私自身の課題である。「教師は準備が9割」という言葉の大切さを改めて実感するとともに、次回実践する際には余裕をもって取り組んでいきたい。

また、授業時数の関係からブラジルで学んだことを教えたり学ばせたいことにアプローチしたりする時間を6時間で設定したが、理解が深まったかどうか確かめる余裕がなく次の授業に進んでいたことも反省点である。特に日系移民についての学習については歴史的な背景や事実をしっかりと押さえておかないとブラジルへの批判につながりかねない怖さを感じた。こうした児童の生活に直結する問題に関しては、ていねいに扱う必要性を実感している。次回の実践に向けて、もとより時数が限られていることはわかっていることであるので、さらに内容を精選し、知識理解に留まらず、行動をすることができる児童の育成を目指して、さらなる実践を積み重ねていきたい。

参考資料 ええぞ、カルロス 長谷川靖浩：作 はせがわさちこ：絵 大阪教育員会「はーと&はーと」絵本